■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	編	章	節	項	号					
1	-	-	-	-	-	-	-	総合計画の表題について、括弧書きで下期等と入れてはどうか	ご指摘の点については検討いたします。	企画政策課
2	1	2	-	-	-	3	計画策定の背景と課題への対応	前回策定時、「第1節①国際社会の進展～⑧”協働”・”共同”の時代」, 「第2節①薩摩川内市の特性, ②薩摩川内市の基本課題と課題への対応」記載されている。箇条書きでも文言をいれ、踏まえつつという風にはどうでしょうか。当初の背景と見比べる必要が生じるのでは。	第2章については、今回大きく変更を実施しました。平成17年度の策定時においては、10年先を見据えた背景と課題を整理し、展開方向を示すことが必要でしたが、今回は、これまで5年間のまちづくりに対する現状と課題を整理し、そこから見出される課題克服のための施策の展開方向を示すことが必要と考え、5年前の記載内容を踏まえた上で修正を行ったものです。なお、ご指摘の「国際社会の進展～”協働”・”共同”の時代」等については、下期基本計画において、各分野ごとに「現状と課題」として整理したいと考えています。	企画政策課
3	1	2	1	1	-	3	我が国の社会経済情勢	[10行目] 「しかしながら」⇒「また」ではどうか。 前後で同調しているの。	ご指摘のとおり修正いたします。	企画政策課
4	1	2	1	2	-	4	薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）	将来人口推移を表現化したらどうか	将来人口推移については、データ集（P2）の「総人口の将来見通し」に記載いたしました。	企画政策課
5	1	2	1	2	-	5	薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）	「スピーディで品質が高い」について、「品質」ではなく「資質」あるいは「経営力」ではないか。物品ではないので。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正いたします。 【変更前】 スピーディで品質の高い信頼ある市政経営 【変更後】 スピーディで質の高い信頼ある市政経営 (※他の修正箇所についても同様に処理いたします。)	行政改革推進課
6	1	2	1	2	-	5	薩摩川内市の現状と課題（中間的総括）	「スピーディで品質の高い信頼ある市政経営」とは？	市民に信頼される市役所として行政サービスを提供する上で「迅速性」を重視した的確な施策の立案、実施を目標として、「スピーディ」を使用しています。 具体的には、市民志向・成果志向に基づく「多様な市民ニーズへの積極的な対応」と来庁者への職員の接客改善や市民の視点に立った窓口業務の改善、ICT（情報通信技術）を活用した業務改革を進めるなど「市民サービスの質の向上」を図ります。	行政改革推進課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
7	1	2	2	1	-	6	協働・参画によるまちづくりの推進	[7行目～8行目] 「こうした活動を応援する」とは何をするのか	例えば、地区の特性や資源を活用し、活力ある地域づくりに取り組み事業に対して支援しています。 これは、地区コミュニティ協議会の健全な発展を図るため、事業内容がユニークで対外的に地区をアピールする事業に対して地区コミュニティ活性化事業補助金を交付しています。 今後は、市民グループ等が行う活動を支援する仕組みについて検討を進めています。	コミュニティ課
8	1	2	2	1	-	6	協働・参画によるまちづくりの推進	[17行目～18行目] 「本市が活気のあるまちになるためには、まずそれぞれの地域が元気でなくてはなりません」とありますが、地域が元気とはどのような状態か？	「地域が元気」とは、地域のコミュニティが地域の特性や資源を活かし、地域課題の解決に向け主体的な活動を行っている状態と考えています。 例えば、峰山地区における地域ぐるみでの「柳山アグリランド」の整備や、大馬越地区におけるシソジュースの生産販売等のむらづくり、平佐東地区における「あさひ元気市」の取り組みなどがあげられます。	企画政策課 コミュニティ課
9	1	2	2	1	-	6	協働・参画によるまちづくりの推進	[23行目] 「地区振興計画を尊重」の尊重とは？	自治基本条例の第27条第2項において、「市は、総合計画を策定する際は、地区振興計画を尊重するものとする」と定めています。 地区振興計画については、基本的に地区コミが自主的に活動する方針等を定めたものであり、市として支援できる事項については、地域力の創造の観点から総合計画に反映するなど支援していくものです。	企画政策課 コミュニティ課
10	1	2	2	1	-	6	協働・参画によるまちづくりの推進	[下から5行目] ①緊急を要する課題としてとらえるならば、「将来的」の文言でよいのか。現実の問題として表現してはどうか（「将来的」の文言の捉え方について説明を求めます。） [下から2行目] ②後段の「資源を活かす」の後に「集落組織の再編等を積極的に進め」の文言を挿入できないか	①ゴールド集落については、5年後には現在の81自治会から168自治会に増加すると予測されていることから、そのような予測を踏まえ「将来的」という文言を使用いたしました。 ②自治会には規模の大小、地域性、財産の有無等、様々な問題があることから、行政から自治会統合の積極的な呼びかけを行うことは難しいと考えています。ただし、各自治会が自治会統合のための自主的な話し合いを始めるための支援策を検討して参りたいと考えております。	コミュニティ課
11	1	2	2	1	-	6	協働・参画によるまちづくりの推進	[下から1行目] 「地域住民がいきいきと光り輝く」とは？	例えば、集落（自治会）において65歳以上の高齢者が占める割合が50%以上を締める「ゴールド集落」においても、高齢者が所有する豊富な知見や知識、技能を活用し、地域の個性や資源を活かし、地域課題の解決に向け、活き活きと主体的な活動を行っている状態のことを表現したものです。	企画政策課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
12	1	2	2	2	-	7	”地域力”を育む体制の強化	[4行目] 「意見が市民から多く寄せられており～道筋をつけていく必要が高まっています」とあるが、行政はこのような意見をまとめ、施策として提案すべき。	ご指摘のとおりです。 市民から寄せられたご意見に対しては、「薩摩川内版地域力創造プログラム」において、「活力と豊かさを感じる地域づくり」を目指し、①地域コミュニティの再生と活動の充実、②生活者の暮らしの確保、③地域産業の再生と交流による地域活性化、④信頼ある市役所機能の構築の4つを取り組みの柱とし、課題の克服に向けた取り組みを施策として提案して参ります。 併せて、ゴールド集落に対する支援策についても現在検討を進めており、併せて施策として提示して参りたいと考えています。	企画政策課 コミュニティ課
13	1	2	2	2	-	7	”地域力”を育む体制の強化	[16行目～18行目] 「こうした地域の取り組みをさらに促進するためには、市民自ら地域が抱える課題について考え、地域のまちづくりを推進していくことが重要です」とあるが、市民も取り組むが行政も提案し、推進していくべきなので、「重要です」ではなく「有効です」くらいの表現ではないか	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正いたします。 【変更後】 「こうした地域の取り組みをさらに促進するためには、市民自ら地域が抱える課題について考え、市と市民が協働して地域のまちづくりを推進していくことが重要です」	企画政策課
14	1	2	2	2	-	7	”地域力”を育む体制の強化	[24行目] 「①地域コミュニティの再生」について、「再生」ではなく「活性化」ではないか。 地区コミュニティ協議会は平成17年度に設立され活動中。 再生は休止の状況と判断されるのではないか。	ご指摘の点については、平成21年3月に策定した「薩摩川内版地域力創造プログラム」の4つの取り組みの柱として「地域コミュニティの再生と活動の充実」を位置づけていることから「再生」といたしました。 ここで「再生」とは、地域における創意工夫を生かしつつ、潤いのある豊かな生活環境を創造し、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる住みよい地域社会の実現を図ることを目指すものです。	企画政策課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
15	1	2	2	5	-	10	経営力の高い自立した市政の展開	<p>文言について、もう少しわかりやすく簡潔に記述できないか。 （例）</p> <p>①「目指す」が何回も繰り返されている ②「基礎自治体の確立」についても同上 ③「限られた経営資源」とは、16ページにおいて（ヒト・モノ・カネ）と注釈を加えてあるが、10ページで注釈するべきではないか</p>	<p>ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正いたします。</p> <p>①「目指す」については1箇所を修正いたします。 ②「基礎自治体の確立」については必要箇所であるためそのままとしたい。 ③ご指摘のとおり修正いたします。</p> <p>【変更後】 地方が主役の国づくりを目指し、地方自治体の樹立を目的とした地方分権改革では、国と地方の役割分担を明確にし、国に依存しない行政及び税財政の基盤を確立し、行政のあり方を住民が自らの責任で決定し、実行する基礎自治体の確立に向けた議論がなされています。 地方分権改革が目指す基礎自治体の確立は、経営力の高い自立した自治体の構築に向けた取り組みが必要です。 このため、これまでの市政改革大綱の方向性を継承しつつ、「都市経営」、「市民サービス」、「協働・市民参画」の3つの視点と、①市民志向・成果志向に基づく都市経営の推進、②効率的・効果的な組織力の向上、③健全な財政経営基盤の確立、④多様な市民ニーズへの積極的な対応、⑤市民サービスの質の向上、⑥広聴広報機能の充実、⑦市民団体との連携、⑧民間活力の活用、⑨地域力と都市力の創出の9つの重点項目のもと、市政改革に取り組み、コスト意識と高い政策形成能力、業務遂行能力を備えた意欲のある職員を育成し、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中を行い、経営力の高い自立した市政経営を展開します。</p>	<p>行政改革推進課</p>
16	1	2	3	4	-	11	都市文化ゾーン、田園文化ゾーン、海洋文化ゾーンの振興方向の具体化	<p>都市文化ゾーン、田園文化ゾーン、海洋文化ゾーンの振興方向の具体化とあるが、これを展開するにあたり、今回構築しようとしている（既に構築されている部分もある）地図情報システムをどう活用されようとしているのか、説明を求めます。</p>	<p>農地地図情報システムは、薩摩川内市管内の担い手農家への集積、耕作放棄地の解消、優良農地の確保、地域農業の振興等を効率的且つ、迅速に進めて行くために、H20年度県単「農地情報利用効率化対策事業」を活用し「農地地図情報システム」の構築導入を行い、現在、平成21年度から一部稼働しているところです。</p> <p>この「農地地図情報システム」は、今年度から同様に構築され稼働している「統合型GIS」のデータ（航空写真・ゼンリン住宅地図・地積図）を利用し、農業委員会で管理している「農家台帳」の情報（例えば：借り手、貸し手が耕作している農地の場所又は、耕作放棄地の場所等）とリンクしています。</p> <p>ご質問の「第1次薩摩川内市総合計画基本構想」に於ける「田園文化ゾーン等」と農地地図情報システムをどのように活用されるのかについては、策定された後は「統合型GIS」に田園文化ゾーン等を構築整備して行けば、農業委員会で管理している農地地図情報システムにも反映可能なため、今後地図化することで農業・工業複合的な具体策を講じるための施策が情報の共有化で容易に図られることになると考えています。</p>	<p>農業委員会</p>

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	編	章	節	項	号					
17	1	3	-	2	-	13	安心・快適	<p>氈地域における福祉・介護従事者の確保が難しいので、その体制整備を明記してほしい</p>	<p>ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正いたします。</p> <p>【変更前】</p> <p>1 地区コミュニティ協議会や民間事業者との連携による地域見守り体制の構築等により、地域ぐるみで高齢者や障害者（児）等を支える福祉のまちづくりを進めます。</p> <p>【変更後】</p> <p>1 地区コミュニティ協議会や民間事業者との連携による地域見守り体制の構築等により、地域ぐるみで高齢者や障害者（児）等を支えるとともに、特に氈地域においては福祉・介護従事者の育成に努め、福祉のまちづくりを進めます。</p>	国保介護課
18	1	3	-	2	-	13	安心・快適	<p>【『5』の2行目】</p> <p>「新たな公共交通システムの導入」の具体的内容を示してほしい。</p> <p>※P23「エ 施策の展開方針」12行目にも同内容あり</p>	<p>「効率的で利用しやすいコミュニティバスの運行やデマンド交通（事前予約型乗合タクシー）等の導入」を意味するものです。</p> <p>P43「3 道路・交通ネットワークの整備」において記載しています。</p>	商工振興課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
19	1	3	-	2	-	13	安心・快適 6 各地域の交通・文化・産業拠点や…	<p>●トピック：文化・芸術…若者にとって魅力のある街 総合計画全体を見ると、「文化・芸術」の分野へ配慮が少ないように思う。 「文化」自体が広い意味ではあるが、私の言う市政の中の文化とは、「一般市民レベルの音楽・美術・学問等を推進する活動」（①で表す）のこと。計画書の中では、文化は、古くから伝わる伝統芸能として、今後も伝承していく、旨の記載はあるが、①の視点からの内容にはふれていないようである。</p> <p>実は、私の周りの人から聞くことであるが、「川内は文化レベルが低い。」「（芸術関係では）何でも鹿児島まで行かないとない。」「音楽では、出水の方がいろいろある。」「（たまには川内でも見れるけれど）、映画を観たかったら、鹿児島まで行かないといけない。映画館が欲しい。（20代と30代の数人が言っていた。）」など。</p> <p>そして実際、注意してみると、もちろん全くないわけではないが、同規模の、少し「まち」と言える市と比べても、レベルの高い、また種類も豊富な文化的な催しが当市は少ないと思う。市民一般の「文化意識レベルが低い。」という声もよく聞く。 まちづくり公社など、工夫をして頑張っているし、子ども劇場も細々とながら頑張っていると思うが、「文化」は、それなりにお金がかかるので、基本計画にも、何らかの文言を入れて、きちんと（金銭的）補助をしていく必要があると思われる。</p> <p>前回の会にて、「若者層にとって魅力ある街作りも大切であると思う」とご意見させていただいたが、その点からみると、「鹿児島まで行かなくても、これだけ川内にもいろいろある。」「〇〇があるから、川内へ行こう。」という街になって欲しいと願う。</p> <p>近々ユニクロ薩摩川内店が開店する、と聞いた。服飾や商業的施設も、（若者にとって）大切に、地元産業にとってはどうなのか、疑問もあるが、この店に行きたいかのために、出水や鹿児島へ行く、という人も結構いるらしいので、朗報と受け止めている。</p> <p>子育てをする環境が整ってきても、若者にとって魅力がなければ、高校卒業と共に外へ出る人材を育てるだけで、街の活性化に即つながらない。それはもったいない。</p> <p>様々な視点から、「若者にとって（も）魅力ある街にするには」という内容について、少しは盛り込むべきではないか。その1つとして、①について、若者に調査をするとか、各高校や各種学校から代表で来てもらって、「若者の語る薩摩川内を語る会」を持つとか、1度企画されたらどうだろうか。 今回盛り込むのが難しかったら、次回は是非、考慮いただきたいと思う。 以上。</p>	[検討中]	企画政策課
20	2	1	1	-	-	-	基本理念	<p>市民が住むことに誇りを持てるまちづくりをするためには「1.地域力を育む」「2.都市力の発揮」「3.市民参画」等は大事なことであるとは思いますが。これらの効果を高めるためにはそれぞれの地域に中心となるリーダーが必要だと思われます。そこで、リーダー育成のために行政としてどのような手立てを取ったらよいか、計画があったら聞かせてください。</p>	<p>リーダー育成については、これまで女性人材バンクや人材バンク「すてきびと」など、各部局・各分野において取り組んできているところですが、ご指摘の観点を踏まえ、今回の基本構想の一部変更において、総合計画における重点的取組として「人材・組織育成」を位置づけました。 生涯学習活動の推進により、地域づくりを担う人材と組織の育成に努めるとともに、地域の人材やまちづくり団体、ボランティア団体及びNPO等の組織を積極的に活用したまちづくりを推進することで、地域を担うリーダー育成に努めて参りたいと考えています。 具体的には、市民と行政との協働型のまちづくりを実践するため、市民グループ等が行う公共的な活動に対する助成等を検討しており、今後、施策として提示して参りたいと考えています。</p>	コミュニティ課 社会教育課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
21	2	1	3	1	1	21	都市文化ゾーン（川内の市街地）	都市計画区域の区画整理事業、公共下水道、複合拠点施設の方向性を明記したほうがいいのではないかと	区画整理事業、公共下水道、複合拠点施設等の個々の事業の方向性については下期基本計画においてそれぞれ明記して参りたいと考えています。	都市計画課、 天辰区画整理推進室、 入来区画整理推進室、 下水道課、 企画政策課
22	2	1	3	1	3	23	田園文化ゾーン（樋脇・入来・東郷・祁答院及び川内の田園地帯） エ 施策の展開方針	田園文化ゾーンに観光振興の文言を入れてほしい	田園文化ゾーンにおいては、「水と緑と温泉に抱かれた、美しく趣きのある田園地帯の形成」を図り、豊かな地域資源を活用することで、グリーン・ツーリズム（滞在体験型観光）の振興を図りたいと考えているところであり、「エ 施策の展開方針」の20行目に「グリーン・ツーリズムによる都市と農山村との交流など、活力ある交流躍動の地域づくりを進めます」としました。	観光課
23	2	1	3	1	2	23	田園文化ゾーン（樋脇・入来・東郷・祁答院及び川内の田園地帯） エ 施策の展開方針	「農業生産基盤整備」を挿入したい	[検討中]	農政課
24	2	1	3	1	3	23	海洋文化ゾーン（川内沿岸部及び甌島区域） ア ソーンの特徴	[下から4行目] 「風光明媚な唐浜海岸」 ⇒ 「雄大な唐浜・西方海岸」にしたかどうか	ご指摘のとおり修正いたします。	企画政策課
25	2	1	3	1	3	24	海洋文化ゾーン（川内沿岸部及び甌島区域） ア ソーンの特徴	[3行目] 「人情豊かな島民が生活する」について、あえて「島民」を使用されているのか。「人々」または「市民」ではいかがでしょうか。	ご指摘の「島民」については、親しみや尊厳、誇りを含めた意味で使用しているものです。	企画政策課
26	2	1	3	2	-	26	交流連携軸	九州新幹線の全面開業により交流区域が広がると思われるので少し具体的表現で交流区域、交通アクセス対策を明記したほうがいいのではないかと。	ご指摘の点については、下期基本計画「第6章 都市力を創出するまちづくり」「第3節 道路・交通ネットワークの整備」において明記したいと考えています。	商工振興課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
27	2	1	3	2	3	27	地域連携軸	「薩摩川内都IC（仮称）」は供用開始しており、正式名称であり不要ではないか。 「宮崎バイパスなど・・・」の部分を「南九州西回り自動車道3インターチェンジなど・・・」と修正してはどうでしょうか。	ご指摘のとおり「薩摩川内都IC」はH19.3.3供用済みであり（仮称）については削除したい。 P27の枠内の記述については、地域連携軸（軸：道路によって構成）を表現しているものです。 ご指摘の「南九州西回り自動車道3インターチェンジなど・・・」はスポット的な表現であるため、現行の表現のままおささせていただきますと考えています。	建設政策課
28	2	2	3	2	-	35	社会教育の促進	[2行目] 「地域のつながりを深められ、活性化が図られていくため」については文言としてはどうか？	ご指摘を踏まえ、以下のとおり一部修正を行いたい。 【変更後】 「地域の人々の連帯感が深まり、地域の活性化が図られていくために、社会教育施設の機能を拡充し、多様な学習機会の提供を図り、地域をはじめ、企業・民間団体・大学との連携した社会教育の促進に努めます。」	社会教育課
29	2	2	3	4	-	35	幼児教育・学校教育などの充実	「学校規模の面から望ましい教育環境を整えるために、小中学校の適正規模化や適正配置を進める」を挿入したらどうでしょうか。	ご指摘を踏まえ、下記のとおり修正します。 【変更後】 4 幼児教育・学校教育等の充実[6～7行目] 児童生徒一人ひとりの個性と多様な能力を伸ばすための教育活動を推進するとともに、 <u>小中学校の適正規模化や適正配置等教育環境の整備に努めます。</u>	学校教育課
30	2	2	4	1	-	37	防災・生活安全対策の充実	防災無線の活用についてお尋ねします。 合併特例債で防災行政無線の設置、戸別受信機全戸配置を進めるとなっていますが、これの有効活用についてお尋ねします。市民の生命、財産を守る施設であることは理解しますが、相当高額な投資であり、スピーディに信頼される行政サービスを展開するためにも、一般広報を広く情報発信することが相乗効果もあり、施設の有効活用が図られるのではないかと考えますが、これができるのか、できないのかお尋ねします。	現在、防災行政無線の基幹部整備が完了し、防災行政情報がスピーディかつ確実な伝達ができるようになりました。 市内全域の一斉放送はもとより、支所からの支所地域内放送や地区コミュニティ協議会からの地区内放送もできるようになり、平成21年度以降は、市内全域に戸別受信機を整備する予定であり、自治会放送を聞くことのできる戸別受信機を整備することにより、防災行政無線の有効活用を図って参ります。	防災安全課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
31	2	2	4	4	-	38	環境対策の充実	墓地とはどこの墓地のことでしょうか。	墓地とは、薩摩川内市営墓地条例に記載のある市営墓地8箇所のことをいいます。 ○川内芸ノ尾第1墓地 ○川内芸ノ尾第2墓地 ○入来向山墓地 ○里園上墓地 ○里園下墓地 ○里観農墓地 ○里寺山墓地 ○鹿島小牟田墓地	環境課
32	2	2	6	3	-	43	道路・交通ネットワークの整備	「南九州西回り自動車道3インターチェンジ」を挿入したらどうでしょうか。	南九州西回り自動車道の阿久根・川内間については、未だルート決定がされておらず、現時点で本市内に配置されるIC数についても公表されていないことから、現段階では、ご指摘の「南九州西回り自動車道3インターチェンジ」は挿入せずに、現行のままの表現とさせていただきたいと考えています。	建設政策課
33	2	2	8	-	-	46	持続可能な行財政運営の推進と政策形成能力の向上によるまちづくり	合併に伴う合併特例債事業の終了から交付税の減少、人口減少による市税の減少等財政見通しの厳しさを表現したらどうか	ご指摘の点については、下期基本計画「第8章 持続可能な行財政運営の推進と政策形成能力の向上によるまちづくり」において明記したいと考えています。	財政課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	編	章	節	項	号					
34	-	-	-	-	-	-	その他	<p>（※構想案の追加や修正を求めるものではありません）</p> <p>①薩摩川内市の中心部（都市文化ゾーン）に「せんだいの顔」となる通りがない。あるのかもしれませんが、どこなのか分からない。</p> <p>②せんだいを代表する「食べ物」が何かわからない。特に「せんだいのお土産」と呼べるものが見当たらない</p> <p>③④にも関連しますが、歩いて楽しい通り、癒される通りがない。歩道も狭くて歩くには危険なところが多い</p> <p>④「水」は豊富であるのに、安心して水辺で遊ぶ場所が少ない。</p> <p>◎豊かな自然、史跡、伝統芸能、祭り等なかなか魅力的な「せんだい」ですが、以上のようなことを思いながら生活しています。少し残念です。</p>	<p>本市中心市街地における以下の3路線（合計延長L=1,970m）については、川内川をイメージした石張り舗装や川内地域にまつわる歴史を紹介する施設を配置するなど、統一的な景観デザイン方針のもとに整備を行っており、これらの道路は川内を代表する伝統行事である「川内大綱引」や多くの市民が参加する「川内はんや祭り」の舞台として、また10万人もの観光客が訪れる「川内川花火大会」へのメインアプローチとして多くの市民や来訪者に利用されています。</p> <p>なお、3路線については、電線地中化事業により全て無電柱区間があります。</p> <p>（1）一般国道川内停車場線（都市計画道路：昭和通り線） 延長：L=340m、W=36m 事業期間：平成12～15年度 事業主体：県、市、九電、NTT西日本 事業概要：九州新幹線鹿児島ルートの一部開業（H16.3）に備え、川内駅の玄関口にふさわしく川内川や河童をイメージした路上施設等配置しつつ、安心・安全な歩行空間の確保などを目的にシンボルロード事業（街路事業）として整備 計画作成：整備方針及び内容について平成12～13年度にかけ県、市、地域住民、通りにて懇談会等にて協議（6回開催） 利用実績：広幅員（10～13m）の歩道を活かして「きやんせふるさとフェスタ」のイベント等に利用</p> <p>（2）一般国道3号（向田地区）（都市計画道路：中央線） 延長：L=800m、W=25m 事業期間：平成8～11年度 事業主体：国、県、市、九電、NTT西日本 事業概要：電線地中化事業に併せ、川内川をイメージした石張り歩道舗装や歩行空間のバリアフリー化を実施 計画策定：整備方針及び内容については国、市、九電、NTT西日本、通りにて協議・作成（委員会等を8回開催） 利用実績：「川内大綱引」や「川内はんや祭り」の会場として利用</p> <p>（3）一般国道3号（大小路地区）（都市計画道路：中央線） 延長：L=830m、W=25m（含む太平橋） 事業期間：平成11～13年度 事業主体：国、県、市、九電、NTT西日本 事業概要：電線地中化事業に併せ、川内川をイメージした石張り歩道舗装や歩行空間のバリアフリー化を実施。大小路地域の歴史を紹介したモニュメント等を随所に配置 計画策定：整備方針及び内容については国、市、九電、NTT西日本、地元住民、通りにて協議・作成（委員会等を8回開催） 利用実績：「川内大綱引」や「川内はんや祭り」の会場として利用</p> <p>（4）その他 現任、一般国道3号（御陵下地区）（国道267号交差点～高槻橋：L≒1,800m）について、国の第6期電線地中化計画（H21～25年度）に登載要望中（H21年末公表予定） 事業化された際には上記3路線同様に歩道空間について関係機関や地元住民らと協議しながら整備計画を策定し、景観に配慮した整備を実施する予定。</p> <p>②本市には川内地域のちりめん、らっきょう、ごぼう、やまのいも、榎蔭のいちご、ゴーヤー、入来のきんかん、東郷の鮎、ぶどうやなし、祁答院の米、藍のきびなごなどの農林水産物と多くの特産品やお土産がありますが、薩摩川内市を代表するお土産の数が少ないのが現状です。 そのため、下記の事業に取り組んでいます。</p> <p>◎加工特産品開発事業 地元の農産物を加工した食品や工芸品を活用した「ふるさと特産品コンクール」の開催、産品相談・商談会への参加、地域振興アドバイザーとの意見交換会等特産品としての付加価値の向上を目指しています。</p> <p>◎特産品開発研究事業 薩摩川内市の重点7品目（らっきょう・ゴーヤー・ごぼう・やまのいも・いちご・きんかん・ぶどう）の特産品開発研究業務を市生活研究グループに委託し、新たな特産品の開発を進めています。</p> <p>◎ブランド品質管理委員会の設置 ブランド推進会議の下部組織にブランド品質管理委員会を設置し既存加工食品の洗い出しや推奨品の検討、特産品開発のためのアクションプランの検討などを行っています。今後はこの委員会の中でPR方法も含め検討したいと考えています。</p>	建設政策課 企画政策課

■第1次薩摩川内市総合計画基本構想（案）に対するご質問・ご指摘・ご提言

No.	対象箇所					頁	施策項目	ご質問・ご指摘・ご提言の内容	ご意見・ご指摘・ご提言に対する本市の考え方	担当部・課室
	目次									
	編	章	節	項	号					
35	-	-	-	-	-	-	合併後5年間のまちづくり「商工観光部」 【参考】中心市街地の活性化	①川内は若者に魅力ある場所がないと思います ②親子で集える場所が少ないのでは。少しでも活性化するのではないのでしょうか。	基本構想においては、「中心市街地活性化施策の推進等により、魅力ある商業集積の整備を促進する」としています。 これまでも、魅力ある商業集積を図るため、大規模商業施設の誘致を行ってまいりましたが、近年の経済状況の悪化や大規模商業施設用地としては面積が狭いなどの諸問題等があり、実現していないところ です。	商工振興課
36	-	-	-	-	-	-	合併後5年間のまちづくり「市民福祉部」	不妊治療費が高くてどうしようもできないと聞くことが多いです。「コウノトリ支援事業」がありますが、まだまだ拡大していただけたらと思っています。	本市の助成については、他市町村と比較しても対象治療が最も多く、県の助成で対象とならない治療までカバーしています。 また、年間助成限度額も志布志市とならび最高額の20万円とし、1妊娠につき5年間助成しており県内では充実した内容となっています。 しかし、少子化対策の一環として重要であることから、第1次薩摩川内市総合計画下期基本計画に位置づけ、他市の状況も参考にしながら充実をはかってまいりたいと考えています。	市民健康課